



2020年 オリンピック・
パラリンピックを日本で!

平成 25 年 2 月 20 日
東京都都市整備局
一般財団法人 セブン-イレブン記念財団

「東京の緑を守ろうプロジェクト助成」 新規助成先団体の決定について

東京都とセブン-イレブン記念財団（別紙3）は、都内で緑の保全活動等を行う市民団体を支援する「東京の緑を守ろうプロジェクト」（別紙1）に取り組んでいます。

この一環である「東京の緑を守ろうプロジェクト助成」（別紙2）について、新たに平成 25 年度から助成を行う団体を選定しましたのでお知らせします。

◆ 助成先団体 計 20 団体

◇ 2年間助成（平成 25～26 年度）・・・ 8 団体

団体名（*）	申請活動名
ふれあい園芸サロン・なでしこ	公園の花壇づくり
熊野公園ボランティアの会	「よみがえれ！熊野公園の池」再生活動
特定非営利活動法人自然環境アカデミー	八王子里山保全地域保全活動 里山の保全・復元
みどりネット koto 辰巳基地（苗圃）	花苗を育て他団体にも供給し、花を広げる活動
特定非営利活動法人花と緑のまち三鷹創造協会	緑の保全維持管理活動（緑のボランティア部会）
里山キッズ運営実行委員会	町田の里山を地域の小学生と共に守るプロジェクト
亀戸七丁目南公園コミュニティーガーデン	コミュニティーガーデン活動と啓蒙普及活動
NPO 法人ネイチャーリーダー江東	子どもが主役の自然再生活動 ～調べる・育てる・広げる～

（* 助成申請書の到着順）

◇ 単年度助成（平成 25 年度）・・・ 12 団体

団体名（*）	申請活動名
東村山の原風景を守る会	せせらぎの郷多摩湖緑地保護育成活動
六仙公園花ボランティア	花ボランティア
都立東大和南公園友の会花葉心雑草の会	都民の心の安らぎと緑のふれあいを促進する花壇づくり
多摩湖緑道花壇友の会・西東京	コミュニティーガーデン化の基礎作り活動
FoE Japan	「街の木ウォッチング」～都市樹木を守る普及活動
自然体感塾ワンダースクール	パーク de アート 公園で緑とふれあう
勝沼城址みどりの会	勝沼城址の緑地保全及び植生調査
都市緑化を考える会	自然観察会 国分寺崖線緑化保全地域の観察会
特定非営利活動法人コスファCOSFA	暮らしの潤い空間”地域の庭づくり”「COSFA 下北沢」地域の庭活動
和翔苑 花と緑のボランティア	花と緑と笑顔の企画 和翔苑花と緑活動
小さな命を守る会	小さな命を守る 南沢樹林地整美活動
せたがや水辺の楽校	子どもが自然とふれあう遊び場づくり

（* 助成申請書の到着順）

◆ 助成総額 約 320 万円（平成 25 年度分）

＜「東京の緑を守ろうプロジェクト助成」の概要＞

この事業は、市民団体が、東京に残る樹林地等の維持保全活動や、緑の少ない市街地において緑を増やす活動、都民が緑や自然に親しむきっかけをつくる活動等の緑を守り育てる活動を行う際に、その活動費用を助成するものです。

次回（平成26年度公募）については、8月頃に応募要項を発表する予定です。

「2020年の東京」へのアクションプログラム2013事業

本件は、「2020年の東京」へのアクションプログラム2013において、以下の目標・施策に指定し、重点的に実施している事業です。

目標3 水と緑のめぐる豊かな都市空間の創出

施策7 緑のネットワークをつなげ、自然豊かな東京を次世代へ継承する

【問い合わせ先】

◆「東京の緑を守ろうプロジェクト」について

○東京都都市整備局都市づくり政策部緑地景観課 菊池

電話 03-5321-1111（内線30-286）

◆セブン-イレブン記念財団及び「東京の緑を守ろうプロジェクト助成」の詳細について

○一般財団法人 セブン-イレブン記念財団 萩原

電話 03-6238-3872

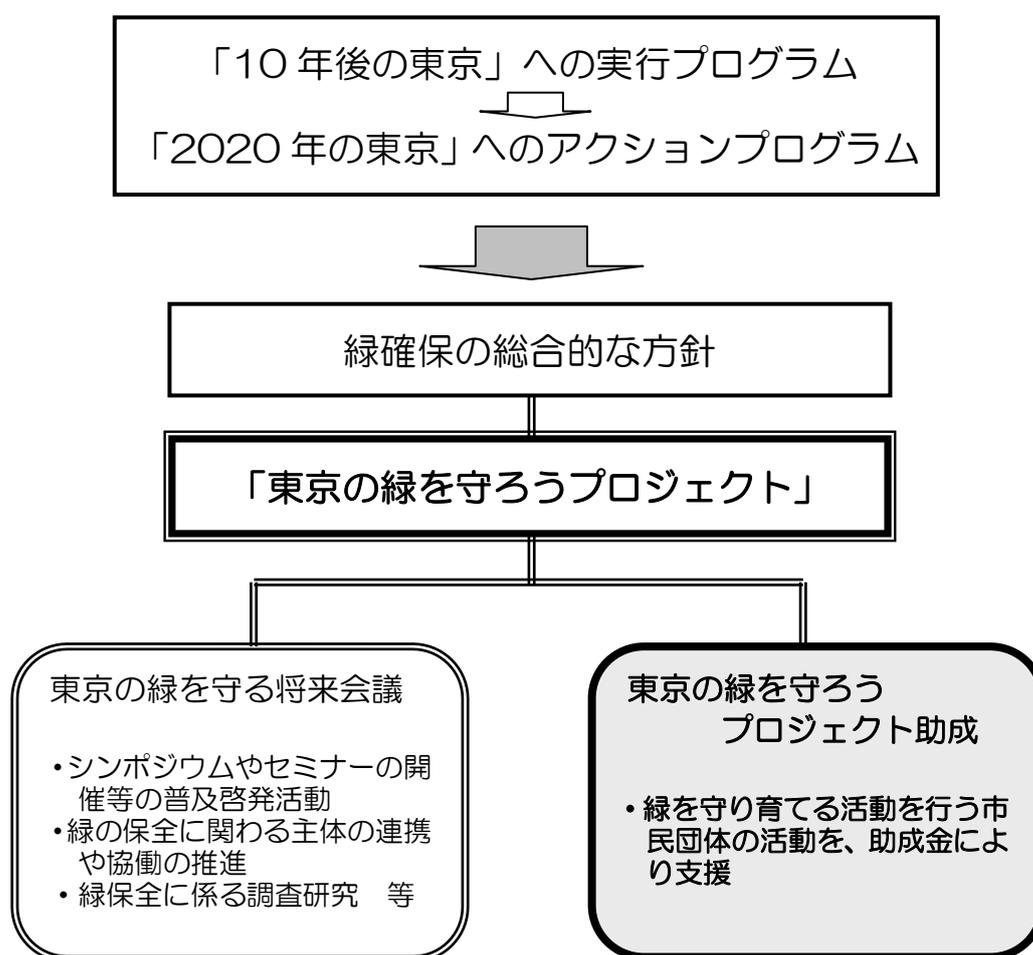
○東京の緑を守ろうプロジェクトについて

東京においては、都市公園などの新たな緑が創出される一方、都市の中に残された樹林地や農地等の既存の緑は、これを上回って減少している。

東京都は、こうした状況を自治体共通の重要な課題ととらえ、「10年後の東京」への実行プログラムに基づき、特に減少傾向にある民有地の既存の緑を計画的に確保することを目的として、平成22年5月、区市町村（島しょ部を除く）と合同で「緑確保の総合的な方針」を策定した。

この方針では、10年間の計画期間における、確保することが望ましい既存の緑の箇所及び面積、緑の創出を伴うまちづくり事業をリスト化し、図面として公表するとともに、新たに取り組む施策として崖線の緑の保全等を提示した。「東京の緑を守ろうプロジェクト」は、この方針における既存の緑を守る取組「民間基金との連携による緑地保全」として位置付けられる。

平成22年2月、東京都とセブン-イレブンみどりの基金（現セブン-イレブン記念財団）は、「東京の緑を守ろうプロジェクトに関する協定」を締結し、東京全体の緑の保全を支援する新たな民間団体の創設と活動に関する助成（東京の緑を守る将来会議に関すること）及び、地域の緑の保全活動等を行う団体への助成（「東京の緑を守ろうプロジェクト助成」に関すること）を開始した。本年は3年目の取組である。

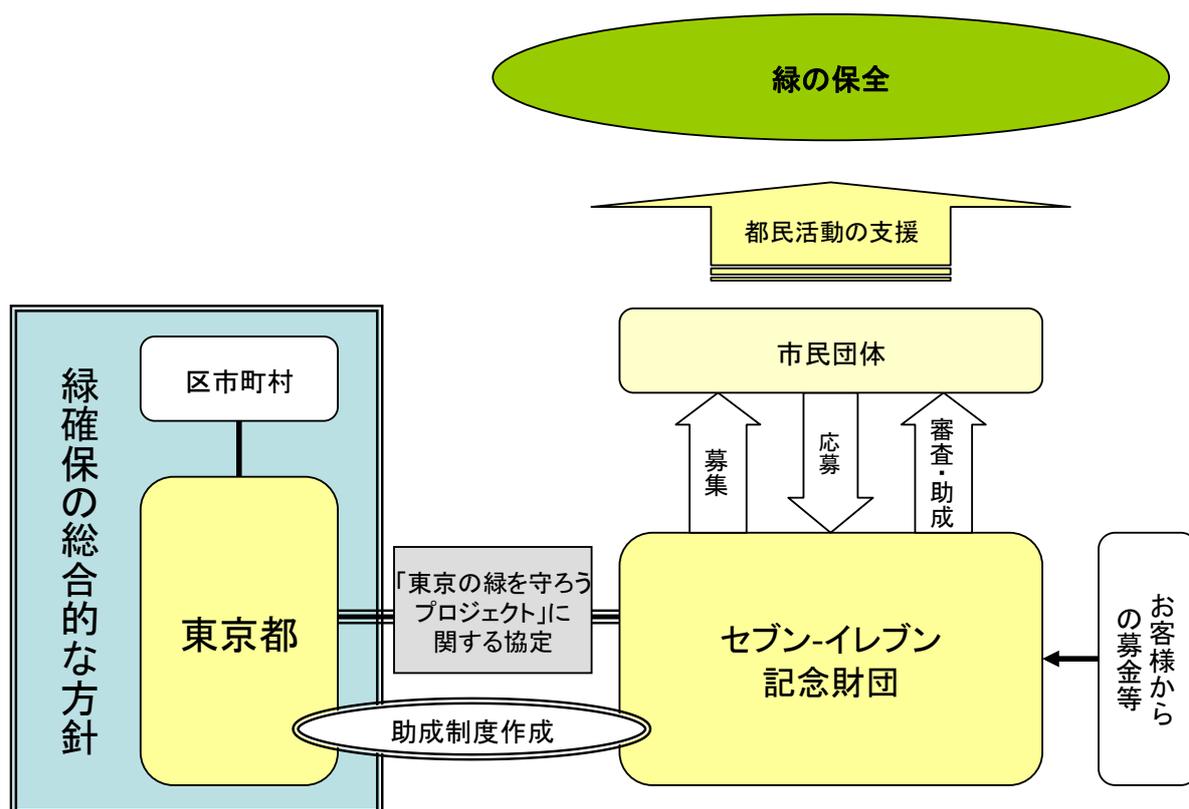


○「東京の緑を守ろうプロジェクト助成」について

セブン-イレブン記念財団が従来実施している公募助成（環境 NPO 支援事業）とは別に、東京都の区域限定の事業として新たに立ち上げた事業。

東京都とセブン-イレブン記念財団が協力して制度の枠組を定め、募集から審査、助成等の手続きはセブン-イレブン記念財団が行う。

助成金の原資は、都内のセブン-イレブンに置かれた募金箱へのお客様の店頭募金である。（一部に㈱セブン-イレブン・ジャパンからの寄付金を含む。）



<平成 25 年度公募助成 応募要項（要約）>

◆応募条件

- 対象となる団体：緑の保全活動等を行うことを目的とした NPO 法人や任意団体、若しくは新しく活動を始める市民グループ（*応募時点で団体となっていれば、新しい団体でも可）
- 対象とする区域：東京都全域（*島しょ部を除く）
- 対象となる活動：東京に残る樹林地等の維持保全活動や、緑の少ない市街地において緑を増やす活動、都民が緑や自然に親しむきっかけをつくる活動等

◆助成内容

- 対象となる経費：実際の活動に必要な材料費、備品費、消耗品費、旅費交通費、通信費、保険料等（*事務所費、人件費、飲食費等のほか、助成対象としてふさわしくないと判断した費用は助成しない）
- 期間及び助成額：①2 年間助成…年間 30 万円まで ②単年度助成…年間 10 万円まで

◆審査

- 審査機関：セブン-イレブン記念財団

○「セブン-イレブン記念財団」について

平成 22 年 3 月に、「セブン-イレブンみどりの基金」のすべての業務を引き継いで一般財団法人として発足した団体

- ◆理 事 長：山本 憲司（セブン-イレブン豊洲店オーナー 東京都江東区）
- ◆事 業 目 的：“環境”をテーマに社会貢献に取り組む
- ◆事 業 内 容：環境 NPO 支援、自然環境保護・保全、地域環境美化、広報、災害復元支援、広域災害義援金募金活動などの事業
- ◆事 業 資 金：セブン-イレブンの店頭で寄せられた募金と(株)セブン-イレブン・ジャパンからの寄付金
 - *店頭募金 約4億2千万円（平成 24 年度）
 - 平成 23 年度までの累計 約 43 億 7 千万円
- ◆設 立 日：平成 22 年 3 月（*「セブン-イレブンみどりの基金」は平成 5 年 11 月）
- ◆所 在 地：東京都千代田区二番町 8 番地 8
- ◆主な活動実績：
 - 災害復元支援事業・・・支笏湖周辺台風災害・復興の森づくり（平成 18 年度～）
 - 自然環境保護・保全事業・・・九重ふるさと自然学校（平成 19 年度～）
 - 環境 NPO 支援事業・・・公募助成 232 団体、約 1 億 4 千万円（平成 24 年度）
 - 環境ボランティアリーダー支援 等

<東京都内での活動実績>

○東京の緑を守ろうプロジェクト助成・・・33 団体、約 570 万円（平成 24 年度）

○災害復元支援事業

- ・三宅島の自然の復元と島の復興のための支援

義援金募金・・・平成 12 年 6 月に発生した雄山の噴火災害に対して全国のセブン-イレブン加盟店の店頭で義援金募金を行い、約 4,300 万円を被災地にお届けしました。

三宅島緑化プロジェクト・・・平成 20 年から、NPO 法人園芸アグリセンターが都内の高校や大学と連携して行う植樹活動を支援するとともに、セブン&アイHL DGS. 社員 350 名による約 12,000 本の植樹を行っています。

○自然環境保護・保全事業

- ・東京都千代田区の桜の保護活動・・・平成 20 年から、NPO 法人東京樹木医プロジェクトと千代田区さくらサポーター事務局が共同で行うサクラの樹勢回復活動を支援しています。